



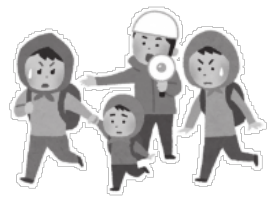
おおもとくにみつ  
大本邦光議員

### 女性視点での防災 対策に伴う支援を

**議員** これまでの防災パンフレットは、どちらかというと男性目線の内容が多く、十分な対応とは言えないのではないかと。今こそ女性の防災への参画を促がすと共に、市民に対して、より一層のきめ細やかな災害への備えを促進する「女性視点の防災ブック」の作成が重要と考えるがどうか。

**市長** 現在岡山県では、県下統一の防災ブックの作成を進めている。女性をはじめ高齢者や障がいのある方にも配慮された内容となり、県下共通の意識を持って防災・減災に備えてまいる。

**議員** 避難所の環境改善の点からマンホールトイレの整備について、災害時の安否確認の点から特設公衆電話の設置についてたずねる。



**危機管理部長** マンホールトイレは東日本大震災以降、非常に注目されているが、当市では費用面で高額であり検討段階である。特設公衆電話については、NTTと協定を結び、現在市内25か所の指定避難所に設置を完了している。

### 軽度介護サービスに 伴う支援を

**議員** 市町村実施の介護予防・日常生活支援総合事業に移行するにあたり、市の直面する現状をたずねる。

**市長** 総合事業訪問介護、総合事業通所介護を実施し、シルバー人材センターによる家事援助サービスも実施している。市町村事業である総合事業となっても、これまでと同等の介護サービスを実施することで、スムーズな移行ができているものと考えている。



おくのやすひさ  
奥野泰久議員

### 効果的な予算執行でイノシシ駆除を

**議員** 現在のイノシシ駆除に対する予算は効果的なものになっているのか。

**産業部長** 一頭当たり約1万円の奨励金で、7〜9月はプラス8000円、実績に合わせ年度末に支払いをしている。

**議員** 確認だが、イノシシが出没すると、猟友会へ連絡があり、ワナをかける。このワナをかける作業が最も重要である。必ず複数で入山し、山の形状、水辺の場所など、イノシシの行動習性を熟知しないとワナの仕掛けはできない。一旦山へ入ると4〜5時間の作業となる。ところが、最も重要なこの作業がボランティアのため、仲間を要請する側もされる側も、仕事を休んで参加しており困窮している。



近い将来、この作業の参加者は皆無になるうとしている。だから、被害が拡大しているのではないかと。

**産業部長** 一日2000円の日当を出している。

**議員** 今後も2000円をお願いするのか。

**総務部長** 頭数での算定よりも実際動いていただいたことへの人件費の考えにシフトするよう、担当課と相談したい。

**議員** 財政担当の部長も欠点があるとの認識である。担当部には駆除へ向けた効果的な予算執行を是非お願いする。